

令和6年度食育推進に係る県の取組実績

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(1)家庭における食育の推進	1	歯科疾患予防推進事業	幼児の口腔に関する正しい知識の普及 ※よく噛んで食べる習慣をつけるため、一口30回噛むことを目標とした「カミング30」についての実践を促進	子供のむし歯予防や食べる機能について記載した「乳幼児のためのむし歯予防ハンドブック」を市町村を通じて妊婦や乳幼児の保護者に配付(通年)	実施なし	健康推進課
		2	「早ね・早おき・朝ごはん」実践	規則正しい就寝・起床の習慣や朝ごはんの大切さについて、県内の小学生、保護者に対して情報を提供	・「早ね・早おき・朝ごはん！ガイドブック」をPTA新任役員等研修会、放課後児童対策パッケージ指導者研修会及び訪問型家庭教育支援推進事業第1回専門講座において参加者に配布(合計約230部)。専門講座においては、訪問支援の際に保護者との話題づくりガイドブックを活用することの協力依頼。 ・PTA新任役員等研修会において、医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック理事長星野恭子氏を招聘し、「やっぱり大切『早寝・早起き・朝ごはん』～睡眠リズムを整えよう～」をテーマに講演を実施。 ・市町村の福祉部局や小学校からの依頼で、乳幼児健康診断時の親への啓発や食育等での活用のために「早ね・早おき・朝ごはん！ガイドブック」を配布。(約2300部)	「早ね・早おき・朝ごはん！ガイドブック」を来年度小学校へ入学する県内すべての児童に配布。また、県立図書館や市町村立図書館及び児童館等親子で利用する機会が多い施設への設置依頼。さらに健康局健康推進課を通じ各市町村の子育て世代包括支援センターへ設置予定。	生涯学習課
		3	育児期の親が集まる場を利用したワークショップ	乳幼児の親が集まる場(乳幼児健診等)を活用し、乳幼児に対する健全な食習慣を始めとした生活習慣やその親の生活習慣予防について実践的な学習の機会を提供	対象:乳幼児を育てる親 主催:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:28回 参加者数:514名	対象:乳幼児を育てる親 主催:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:11回 参加者数:299名	健康推進課
		4	地域・職域おやこ食育教室	育児期の親とこどもの適正な食習慣の定着をめざした食育講習会を開催	対象:乳幼児の子供と親 委託団体:和歌山県食生活改善推進協議会 回数:29回 参加者数:655人	対象:乳幼児の子供と親 委託団体:和歌山県食生活改善推進協議会 回数:3回 参加者数:145人	健康推進課
	(2)学校、幼稚園、認定こども園、保育所における食育の推進	1	食育研修会	就学前の幼児の健全な発育及び健康の維持・増進を図るため、保育所や幼稚園、認定こども園等の食育担当職員に対し、食育推進への認識を深めることを目的に、食育に関する研修会を開催	実施日及び場所: 日時 令和6年9月28日 会場 紀の国住宅南コミュニティセンター 内容 「アレルギーの理解、アレルギー疾患の理解」についての講義を実施	実施日及び場所: 日時 令和7年1月25日 会場 WEB開催 内容 「食と子育て、食育計画の作成と活用」についての講義を実施予定	義務教育課
		2	学校における消費者教育	学校における消費者教育を推進するため、講師を派遣 授業内容は、契約や金融・金銭教育の他、食育(良いおやつ選び方、商品パッケージで学ぶ食品表示、コンビニ食を使って学ぶ栄養バランス等)に関するもの	消費者教育の出前講座を34校(うち食育4校程度)で実施。	消費者教育の出前講座を5校(うち食育1校)で実施。	県民生活課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(2)学校、幼稚園、認定こども園、保育所における食育の推進	3	歯科疾患予防推進事業(再掲)	児童に対し、口腔に関する正しい知識の普及と実践につなげるため、小学校等において出前教室を開催 ※よく噛んで食べる習慣をつけるため、一口30回噛むことを目標とした「カミング30」についての実践を促進	対象:小学生 参加者数:4校169名	実施なし	健康推進課
		4	「小・中・高から始める生活習慣病予防」出張講座	児童・生徒の段階から取り組む生活習慣病予防等に関する知識を習得させるため、二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会から専門知識を有する者(医師、歯科医師、薬剤師、保健師、管理栄養士等)が学校に出向いて講義を実施	対象:県内の小学校・中学校・高校の児童・生徒・教員・保護者 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:43回 参加者数:2,156名	対象:県内の小学校・中学校・高校の児童・生徒・教員・保護者 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:27回 参加者数:1,443名	健康推進課
		5	梅干しで元気!!キャンペーン	県内小学校及び特別支援学校の児童・教職員を対象に、日本古来の代表的な加工食品であり、県特産品である「梅干し」の歴史、生産方法や機能性等を理解し、より一層身近なものとして食する習慣を養うことを目的に、啓発キャンペーンを実施	実施時期:令和6年10月 対象:県内小学校、特別支援学校の児童及び職員 主催:県、県教育委員会、県漬物組合連合会 実施内容: ・「梅と梅干しについての出前授業」及び「梅干し贈呈式」(7校) ・学習資料「梅と梅干しのお話」の配付(全小学校及び特別支援学校) ・県産梅干しの提供(全小学校及び特別支援学校)		鳥獣害対策課
		6	農業改良普及総合推進事業(農業教育推進事業)	学校等に対して、地域の農業者等と連携し、農業体験学習等の機会を設けることで、学童等の農業と食に関する理解促進を図る	児童等を対象に農作業体験や農業に関する講義を実施 実施校数40校 (小学校37校、中学校2校、保育園等1校)	児童を対象に食の体験学習を実施した(小学校1校)。	経営支援課
		7	青少年水産教室	漁業関係者(漁業士、漁協青年協議会等)と県水産業普及指導職員が連携して、漁業に関する体験学習や漁具、漁法について講義、漁港での見学、稚魚の放流等の実施	○青少年水産教室の実施 ・幼稚園、小学校等で漁業関係者(漁業士、漁協青年協議会等)と県水産業普及指導職員が連携して、漁業に関する体験学習や漁具、漁法について講義、漁港での見学、稚魚の放流等の実施 ・12月末までに36件、園児、児童1035人を対象に実施		水産振興課
		8	「魚の骨を知って、楽しくおいしく食べよう」	子供たちに魚の骨自体に興味を持たせ、骨付き魚を好きになってもらうための出前授業等を実施	○出前授業の実施 ・魚の骨の構造や骨付き魚の上手な食べ方等を教え、魚を丸ごと一匹食べる出前授業 11月～2月までの期間で実施中 ・12月末までに小学校18校、児童723名を対象に実施	○出前授業の実施 ・2月までに小・中学校12校、児童647名を対象に実施	水産振興課
		9	学校給食用牛乳への理解醸成	和歌山県牛乳協会と連携して、小学生を対象に牛乳・乳製品等に対する理解と関心を高めるための取組を実施 ・小学生を対象とした「出張! 県政おはなし講座」の開催	「出張! 県政おはなし講座」の実施 実施回数:2回(8/2、8/23)		畜産課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	(2)学校・幼稚園・保育所等における食育の推進	10	栄養教諭を中核とした食育の推進	学校の栄養教諭が中核となって、各地域において、食育推進の取組を強化	栄養教諭が、所属校及び他校で食育推進の中核となり、地域の実状に応じた食に関する指導を年度初めに計画し、実施	引き続き、栄養教諭が、各地域において学校における食育推進の中核として、食に関する指導の全体計画に基づいた食に関する指導を実施	教育支援課
		11	紀州わかやま食事バランスガイドの普及啓発	若い世代を対象に紀州わかやま食事バランスガイドを普及啓発し、栄養バランスのとれた食生活への理解促進に繋がる取組を実施	<ul style="list-style-type: none"> 教材作成についての検討会を開催(7月4日、8月8日 計2回) クリアファイル等教材4点と教員向け指導要領を作成し、県食育月間の10月に合わせて配付 栄養教諭、家庭科教諭等により、授業で活用 	引き続き、教諭により授業等で活用	果樹園芸課
		12	学校給食での和歌山産品利用拡大戦略アクションプログラム	県産農林水産物の使用割合を増加させるための取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> 安定した供給体制の確立 和歌山県産農水産物の提供 学校給食向け加工品の開発と県産品斡旋物資の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した供給体制の確立 各市町村に働きかけ、取組の拡大を図る 学習活動の教材としてうめを提供 うめジュース作りの実習、授業を実施 6月3日～6月19日 235校に提供 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した供給体制の確立 引き続き、各市町村に働きかけ、取組の拡大を図る 	果樹園芸課
					<ul style="list-style-type: none"> 「出張！県政おはなし講座」の実施 実施回数:2回(7/9、8/9) 学校給食への提供 ジビエ:12月5日～20日 34校に各1回提供 学校への出前授業の実施 ジビエ:計9回(11月 4回、12月 5回) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食への提供 ジビエ:1月14日～2月18日 7校に各1回提供予定 学校への出前授業の実施 ジビエ:1月～2月に5回程度実施予定 	畜産課
					<ul style="list-style-type: none"> 学校給食への提供 鯨肉:小中学校等326校を対象に、11月1日より提供を開始 出前授業の実施 魚の骨の構造や骨付き魚の上手な食べ方等を教え、魚を丸ごと一匹食べる出前授業を12月～2月までの期間で実施中 12月末までに小学校19校・特別支援学校1校、児童729名を対象に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食への鯨肉の提供 1月末まで提供 出前授業の実施 魚の骨の構造や骨付き魚の上手な食べ方等を教え、魚を丸ごと一匹食べる出前授業を1月～2月末までの期間で実施 2月末までに小学校12校、児童647名を対象に実施 	水産振興課
					<ul style="list-style-type: none"> 県産品・ジビエの給食現場への導入支援 「わかやまジビエ」の安全・安心の理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭、学校栄養職員等を対象とした「わかやまジビエ」を活用した調理講習会開催:開催回数1回 参加者16名 「わかやまジビエ」に係る指導用資料の配布による保護者等への啓発:約77,000部 	引き続き、栄養教諭、学校栄養職員等を対象とした研修会等において、地場産物の活用を促していく。
		13	食育実践地域活動支援事業	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) 一般社団法人 和歌山県調理師会、紀の里農業協同組合、わかやま農業協同組合、和歌山県漁業士連絡協議会、伊都地方農業振興協議会、社会福祉法人 泉新会、公益社団法人 和歌山県栄養士会、ありだ農業協同組合、有田川町	引き続き実施	果樹園芸課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名
①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 (3)地域における食育の推進	1	地域における日本型食生活等の普及促進	県民のバランスのとれた食生活の実現、地産地消・地域食文化への理解促進を図るため、「食生活指針」や「～紀州わかやま～食事バランスガイド」等を活用した啓発事業を実施	○食事バランスガイド実践講座の開催 日時:令和6年6月25日 場所:和歌山大学 参加者:経済学部 学生 約160名 ○食育普及啓発イベントの開催 日 時:令和6年10月12日 場 所:スーパーセンターオークワ バームシティ和歌山店 内 容:栄養士による食事指導 野菜の重量(350g)当てゲーム 参加者:一般県民約100名	○食育普及啓発イベントの開催 日時:令和7年2月22日 場所:スーパーセンターオークワ セントラルシティ和歌山店 内容:栄養士による食事指導 野菜の重量(350g)当てゲーム ベジチェック(カゴメ株式会社との連携) まりひめのPR (県いちご生産組合連合会との連携)	果樹園芸課
	2	青少年の家における取組	青少年の家において、地域に伝わる食品作りや野外炊飯等の過程を通して、食文化への理解や食べ物を大切にすることを育む等の取組を実施	○県立紀北青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:4回 ・ピザ作り:3回 ・バームクーヘン作り:1回 ○県立白崎青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:3回 ・ケーキ作り:1回 ・ピザ作り:1回 ・焼き芋作り:1回 ○県立潮岬青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:6回 ・ケーキ作り:1回 ・ピザ作り:2回	○県立紀北青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・募集型自主事業の中での野外炊事:2回 ○県立白崎青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・餅つき:1回 ○県立潮岬青少年の家 ・利用団体への野外炊事指導(随時) ・ナン作り:1回	こども未来課
	3	和歌山県のご当地「ハートレシピ」を活用した減塩・野菜豊富な食生活の啓発	「心臓に優しい食事」をコンセプトにしたハートレシピを活用し、減塩(食塩相当量は1日6g未満)、野菜豊富な(野菜の量は1日350g以上)食生活を啓発	場所:各県立保健所 実施回数:2回 参加者数:16名	場所:各県立保健所 実施回数:2回 参加者数:21名	健康推進課
	4	在宅栄養士等の研修	地域において、食育の推進が着実に図られるように、栄養指導に当たる管理栄養士等の資質向上を図るため研修会等を開催	(1)対象:在宅栄養士等 (2)実施主体:各県立保健所 (3)実施回数:8回 (4)参加者数:43名	(1)対象:在宅栄養士等 (2)実施主体:各県立保健所 (3)実施回数:5回 (4)参加者数:74名	健康推進課
	5	地域・職域出前講座	地域(保護者会等)や職域(事業所等)が実施する生活習慣病予防などの健康講座へ二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会メンバー(医師会、看護協会、栄養士会等)が講師として出前講座を実施	対象:地域住民、職域(事業所等の職員) 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:43回 参加者数:1,339名	対象:地域住民、職域(事業所等の職員) 主体:各二次保健医療圏地域・職域連携推進協議会 実施回数:5回 参加者数:151名	健康推進課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
(3)地域における食育の推進	6	子ども食堂の取組支援 (①和歌山子ども食堂支援事業) (②和歌山県子ども食堂応援ネットワーク事業)	① すべての子どもたちが安心して地域の大人とかかわり、社会性をはぐむ場として、食事を提供し、学習支援や地域交流の拠点となること もの居場所づくりに取り組んでいる団体を支援 ② 子ども食堂と地域や行政、食材提供者等の関係機関をつなぐネットワークの構築及びコーディネーター派遣による子ども食堂の活性化	①子ども食堂新規開設、機能強化(学習支援、多世代交流)の備品等購入費用補助 ・募集期間令和6年5月～令和6年12月 ②令和6年4月、県社会福祉協議会へ事務局を委託し、子ども食堂と地域や行政、食材提供者等の関係機関をつなぐ和歌山県子ども食堂応援ネットワークを設立。 ・「和歌山県子ども食堂応援ネットワーク設立記念シンポジウム」を開催(6月) ・「生活支援コーディネーター研修」、「和歌山県食品衛生大会」にて子ども食堂について講演(11月)	①令和6年12月20日で募集終了 ②県子ども食堂応援ネットワーク事務局を通し、引き続き支援を実施。 (参考:和歌山県子ども食堂応援ネットワーク事業) ・「子ども食堂新規設立講座」を実施(2月に2回) ・県域アドバイザー・ヘルプメイトを派遣し、新規設立を支援 ・HP、オンライン広告を活用した普及啓発	子ども未来課	
	7	食育実践地域活動支援事業(再掲)	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) わかやま農業協同組合、和歌山市、一般社団法人 和歌山県調理師会、和歌山県漁業士連絡協議会、公益社団法人 和歌山県栄養士会、伊都地方農業振興協議会、紀の里農業協同組合、ありだ農業協同組合、有田川町	引き続き実施	果樹園芸課	
②持続可能な食を支える食育の推進	(4)生産者と消費者との交流促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	1	食育・地産地消週間「ふるさと和歌山食週間」の普及啓発(毎月第3月曜からの1週間)	食育推進の一環として、直売所、量販店等における地産地産物利用拡大の取組を重点的に推進	・飲食店、スーパー、JA直売所における地産地産物のPR及び利用促進 ・のぼり、ポスター等による消費者への周知 「ふるさと和歌山食週間」推進店舗登録状況:91店舗	引き続き実施	果樹園芸課
		2	農業改良普及総合推進事業(地産地消推進事業)	農業者が行う地産地消の取組に対する支援を行い、農業者と消費者がお互い顔の見える関係を構築し、消費者の農業及び地域農産物への理解の促進を図る	農産物の加工実習(みそづくり体験、ジビエ料理等)を小学校1校、中学校2校で実施した。	一般消費者向けに地域農産物を使った料理レシピの紹介を行った(海南市1回)。農作物の加工実習(みそづくり、こんにやくづくり)を小学校4校で、地元食材を使用した調理体験を中学校1校で実施した。	経営支援課
		3	わかやま産品応援店の登録推進	県産品の良さを消費者に積極的にPRするため、県産品を取り扱う登録店舗(小売店、飲食店)の拡大	・新規登録店舗:2店舗 ・食ツーリズム、応援店、ポンチのWEBサイトを活用した産品の魅力を発信。 ・ORA(大阪外食産業協会)との連携により、関西圏での店舗登録に向けたPRを実施。	・食ツーリズム、応援店、ポンチのWEBサイトを活用し、産品の魅力を情報発信。 ・ORA(大阪外食産業協会)との連携による関西圏での店舗登録に向けたPRを実施。	食品流通課
		4	わかやまポンチのお店等登録推進	和歌山の果実を使ったご当地スイーツ「わかやまポンチ」を提供する登録店舗の拡大	・新規登録店舗:1店舗 ・食ツーリズム、わかやまポンチWEBサイトを活用し、わかやまポンチの魅力を発信。	・外食産業への食材提案時にメニューイン提案を実施。 ・食ツーリズム、わかやまポンチWEBサイトを活用し、わかやまポンチの認知度向上及び魅力を情報発信。	食品流通課
		5	循環型社会の構築	食品ロス、食品廃棄物の発生抑制(リデュース)等の取組を行い、循環型社会の推進を図る	・ホームページ、県公式SNS、ラジオ、テレビ番組による啓発・情報提供 ・環境イベントでの啓発物品の配布 ・フードドライブの実施(実施回数:2回) ・出前講座の実施(実施回数:7回) ・事業者登録制度の実施 ・県広報誌での発信	・ホームページ、テレビ番組による啓発・情報提供 ・出前講座の実施(1回) ・事業者登録制度の実施(R6年度末登録数:30事業所)	循環型社会推進課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名
② 持続可能な食を支える食育の推進	(4)生産者と消費者との交流促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	6 食育実践地域活動支援事業(再掲)	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) わかやま農業協同組合、和歌山県漁業士連絡協議会、一般社団法人 和歌山県調理師会、紀の里農業協同組合、社会福祉法人 泉新会、ありだ農業協同組合、有田川町	引き続き実施	果樹園芸課
		7 食の安全・安心に係る情報の提供	子育て世代(小学1年生の保護者等)をターゲットとして、食の安全・安心に関する総合的な情報を提供	食の安全・安心に関する啓発チラシを作成し、チラシ配付による情報提供を実施 配付小学校数:271校		生活衛生課
			小学校の教職員等をターゲットとして、食の安全・安心に関する総合的な情報を提供	食の安全・安心に関する啓発チラシを作成し、チラシ配付による情報提供を実施 配付小学校数:271校		生活衛生課
		8 和歌山県生鮮食品生産衛生管理システム認証制度	県内の生産現場における生産者等の自主的な衛生管理を推進し、その衛生管理システムを認証することで、より安全な生産物の供給と消費者の生鮮食品に対する安心・信頼につなげていく	生鮮HACCPについて、次のとおり認証 ・マダイ(更新):2件、クエ(更新):1件 ・鶏卵(新規):2件	認証取得を希望するアユ養殖業者及び養鶏業者に対して指導を実施:各1業者	生活衛生課
		9 食の安全リスクコミュニケーションの推進	食品のリスクについて、消費者・事業者など関係者相互間における幅広い情報や意見の交換を行うことにより、信頼関係を築く	・小学生児童及び子育て世代を対象とした「食の安全親子教室～食品工場へ行ってみよう～」を開催 参加者数:親子14組(30名) ・食の安全意見交換会の開催 実施日:令和6年10月1日 参加者数:17名(健康食品について) 実施日:令和6年12月13日 参加者数:20名(食中毒予防と食品添加物について)		生活衛生課
		10 流通・販売段階における衛生管理マニュアルの導入促進	フードチェーン全体における食の安全の確保のため、「流通・販売段階における衛生管理マニュアル」の導入を促進し、流通・販売における衛生管理の向上を図る	・届出対象事業者への届出制度の周知 ・県民に対し、届出制度及び届出事業者の衛生管理の取組について周知	・届出対象事業者への届出制度の周知 ・県民に対し、届出制度及び届出事業者の衛生管理の取組について周知	生活衛生課
		11 食品表示推進者育成	食品表示に関する知識を有する食品表示推進者を育成するため、表示講習会を開催し、県内食品事業者における積極的な適正表示の取組を促進	食品表示推進者育成講習会の開催 実施箇所:5か所+Web開催1回 参加者数:190名	コンプライアンスに関する講習会(令和6年度食品表示推進者育成講習会のフォローアップ講習会)の開催 参加者数:59名	生活衛生課
		12 和歌山県HACCPシステム認証制度	コーデックスHACCPに取り組んでいる食品事業者を認証する	認証施設数(12月末) 新規:5 累計:54	認証施設数(3月末) R6新規:7 累計:57	生活衛生課
		13 食品衛生監視体制の充実	県民の食の安全確保を図るため、「和歌山県食品衛生監視指導計画」に基づき、食品製造施設等への立入検査や流通食品の検査を重点的かつ効果的に実施	食品衛生監視実施率:57.9%(9月末) 食品検査:1068検体(11月末)	食品衛生監視実施率:100%(3月末) 食品検査:1,121検体	生活衛生課
		14 食品表示の適正化推進	食品表示法等に基づく食品表示制度の普及・啓発により表示の適正化を図る	・食品販売店(農産物直売所等)に対する監視指導 ・農産物直売所食品表示講習会等の開催 実施箇所:1か所+Web開催 参加者数:51名		生活衛生課

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名
② 持続可能な食を支える食育の推進	(4)生産者と消費者との交流促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等	15	いわゆる健康食品の安全対策 いわゆる健康食品に起因する健康被害を防止するために、県内の健康食品製造事業者を対象に関係法令、品質・衛生管理等の研修会を開催するとともに、県民参加型意見交換会を開催 引き続き県内で製造される健康食品の表示監視等を実施し、県民に適切な商品が選択できるような情報提供	・パンフレットやHP等による県民への情報提供 ・健康食品の表示監視等を実施 ・食の安全意見交換会の開催 実施日：令和6年10月1日 参加者数：17名 (健康食品について)	・健康食品の成分検査の実施 ・健康食品製造業者研修会の開催：1回	生活衛生課
	(5)食文化の継承	1	魚食普及活動 漁業関係者(漁業士、漁協青年協議会等)と連携して、魚の触れあい体験や魚料理調理指導・試食を実施することで、児童・生徒の県内水産物や水産業への理解促進を図る	小学生等を対象に漁業の説明、お魚タッチ、チリメンモンスター探し、漁船・漁港施設見学等を実施 対象：園児、小学生、中学生 実施回数：19回 参加者数：569名		水産振興課
		2	鯨食文化の普及 鯨食文化への理解促進と鯨食文化の普及を目的として、小学生を対象とした出前授業及び学校栄養士を対象とした鯨料理講習会を開催	○くじらフェアの実施 捕鯨に対する県民の理解を深めるとともに、鯨食普及により消費拡大に繋ぐ目的としてくじら料理を提供 実施期間：令和6年9月24日(火)～9月27日(金) 実施場所：県庁北別館1階職員食堂(きいちゃん食堂) 料理：くじらカツ・竜田揚げミックス定食 くじらソースカツ弁当 ○クジラ博士の出張講座の実施(一般財団法人日本鯨類研究所と共催) 水産資源としてのクジラ、捕鯨の歴史や鯨食を含む捕鯨文化についての理解を深めることを目的として実施 実施日：令和6年10月8(火)、9(水)日 実施校：東山東小学校(和歌山市)、川辺西小学校(日高川町)、出雲小学校(串本町)	○くじら企画展の開催(一般財団法人日本鯨類研究所と共催) 水産資源としてのクジラ、日本人とクジラとの関わり、捕鯨の歴史や鯨食を含む捕鯨文化について解説パネルや標本を通して紹介 実施期間：令和7年3月1日(土)～令和7年3月2日(日) 実施場所：スーパーセンターオークワ センทรัลシティ和歌山店	水産振興課
		3	食育実践地域活動支援事業(再掲)	第4次和歌山県食育推進計画に基づき、地域特性を活かした体験や交流等を通じ、県民自らが食について判断できるようにするための食育推進事業を実施	(事業実施主体) 公益社団法人 和歌山県栄養士会、紀の里農業協同組合	引き続き実施

		事業・取組名	内 容	実施状況(4月～12月)	実施状況(1月～3月)	課室名	
③ 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進	(6)食育推進運動の展開	1	県食育推進月間の取組(10月)	県や市町村、教育、農林漁業者、食品産業等の食育関係者や団体等関係者が共通認識を持ち、県民運動として重点的に食育推進を実施	○県公報媒体(県民の友、テレビ、ラジオ、県公式SNS)を活用した普及啓発 ○和歌山放送(ラジオ)での普及啓発 ・啓発スポット放送30回 ・ラジオ健康相談での関係各課による啓発 ・ラジオ番組「ボックス」での啓発		果樹園芸課
		2	わかやま食育情報発信誌「食育通信」の発刊	県民に幅広く食育普及啓発を行うため、和歌山県における食育の取組や関連情報を発信していくことを目的に発刊	○第31号(2024年秋冬号)発刊 時期:令和6年9月 部数:7,000部 内容:第4次和歌山県食育推進計画の紹介、和歌山県の果物について、食事バランスガイドの使い方、旬のレシピ等	○第32号(2025年春夏号) 時期:令和7年2月 部数:7,000部 内容:食文化の継承における各団体等の取組について、郷土料理の歴史・レシピ紹介、わかやま食育応援隊の活用について等	果樹園芸課
		3	消費者への情報発信	消費生活の情報誌「くらしのとびら」において食育に関する情報提供、啓発等を実施	くらしのとびら(年3/4回発行 20,000/回) 食育に関しては、1回実施		県民生活課 (県消費生活センター)
		4	わかやま食育応援隊登録、情報発信	食育活動を行うために、必要な知識・技術・経験をもち、食育活動に協力・支援いただける個人、団体、企業を「わかやま食育応援隊」として県に登録し、その情報をホームページ等で広く提供することにより、学校や地域における食育関係者による連携や継続的かつ主体的な食育活動の展開を支援	通年募集	引き続き実施	果樹園芸課
		5	食育推進表彰式及び研修会	和歌山県食育推進会議において、食育に積極的に取り組む個人、団体、企業等に対する表彰の実施、及び食育を県民運動として展開することを目的とした研修会を開催		令和6年度和歌山県食育推進表彰式及び食育推進研修会 日時:令和7年2月4日(火) 13:30～16:00 場所:ダイワロイネットホテル和歌山 内容:食育推進表彰式・事例発表 講演「大人の食育一地域を活性化し人生を充実させる食育とはー」 講師 食育専門家 AllAbout食育ガイド 浜田峰子氏	果樹園芸課
		6	ホームページによる食育情報発信	和歌山県食育ひろば 県民の食育に対する意識を高めるため、行政、関係機関・団体等の食育に関する各種情報をホームページを利用して総合的に発信 ・食育関連行事紹介 ・農林水産物を通じた食育・地産地消に関する情報 ・わかやま食育応援隊に関する情報 等	情報の整理及び、新着情報を随時更新	引き続き実施	果樹園芸課
			和歌山の水産物の旬や水揚げされる場所、食べ方、漁業等をホームページを活用して紹介	和歌山の水産に関するデータを更新	随時情報を更新	水産振興課	